

新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター 新センター長就任のご挨拶

8月1日付けで、新潟大学朱鷺・自然再生学研究センター長に就任しました山村則男です。私は、これまで生態学における理論的研究を専門とし、佐賀医科大学、京都大学、総合地球環境学研究所を経て、現在、同志社大学で研究教育に従事しています。最近、モンゴル草原とマレーシア熱帯林をフィールドとして、生態系の環境保全と地域人間社会との関係についての研究に携わっていますので、前センター長の山岸 哲先生よりこの職のお誘いがあったとき大変興味を持ちました。幸い、トキの野生復帰の事業も軌道に乗ってきたようですので、センターの次の重要課題である自然環境の再生、豊かな地域づくりの研究にますます取り組める状況になったのではないかと考えています。私の個人的な研究は理論研究でありましたので、センター長の重責が果たせるかどうか不安な面もありますが、センターの研究者や地域のみなさまと協力してよい研究成果を出していけるものと期待しています。



朱鷺・自然再生学研究センター
センター長 山村 則男

センターでは佐渡市からの寄附により昨年度から自然再生学講座を設け、佐渡の自然再生と経済活性化の両立・好循環に向けた研究活動を進めています。今回、中間報告会を開催し、市民のみなさまに広く成果をお伝えいたします。みなさまから忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。

みなさま、よろしく願いいたします。



佐渡市寄附講座

自然再生学講座 ～環境・経済好循環分野～ 中間報告会

■日時：2012年11月25日(日) 9:00～15:00

■会場：佐渡市新穂潟上 トキ交流会館1階大ホール

■主催：新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター

「自然再生学講座」は、平成23年5月に新潟大学朱鷺・自然再生学研究センターに開設された佐渡市の寄附講座です。

本講座は平成26年3月までの3年間、生物多様性の保全再生を軸とした環境保全型農法の普及啓発と、地域経済の活性化の両立を目標におき、自然科学と社会科学のさまざまな分野の専門家が調査研究を進めていきます。

これまでの研究成果を広く一般市民や行政の皆さまに知っていただき、意見交換しながら適宜プログラムに修正を施していくことにより初めて、地域と一体となった自然再生・地域再生を実現させることが可能となります。この目標を視野に入れ、佐渡市の皆さまへの地域還元と意見交換の場の提供のために、中間報告会を開催する運びとなりました。皆さま、奮ってご参加ください。

<プログラム>

1. 朱鷺・自然再生学研究センター長 基調講演（山村則男）
2. 自然再生学講座の進捗状況とアウトプット
3. 個別テーマ報告
 - (1) 生物多様性に配慮した環境保全型農法の検討とその普及啓発
 - ・水田の生物多様性指標
 - ・水田の生物多様性評価
 - ・農業者の意識
 - (2) 農林水産物の品質評価
 - ・佐渡米の食味評価
 - (3) 環境保全型農業に基づく農林水産物の市場形成と拡大
 - ・市場・消費分析
 - ・制度・経営分析
 - (4) 農地の順応的管理システムの検証
4. 総合討論

